



### 光福寺の宝篋印塔

昭和二十八年八月二十九日国指定有形文化財

この宝篋印塔は、高さ二・一mを計り、元亨三年（一二三三年）に造立されたものです。均整のとれた美しいもので鎌倉時代の宝篋印塔の特徴をよく伝えています。

裏面の銘文

奉造立宝篋印塔一基

右塔婆者大日本国武州比企

玉太岡四国山光福禪寺沙門

鏡空子円元亨癸亥

仏成道日起之誌之矣

当時大檀那比丘尼妙珊

藤原光貞朝臣

施主妙弥闍阿

### 光福寺の板石塔婆

昭和四十年三月十六日県指定有形文化財

この板石塔婆は、高さ一五二cm、幅三六cm、石材は緑泥片岩を使用し、嘉元四年（一三〇六年）に造立されたものです。上部に来迎する阿彌陀三尊を、下部に花をかした花瓶を二つ線刻し、中央に「嘉元四年二月吉日」と銘があります。鎌倉時代の仏像彫刻のある板石塔婆として、優秀なものです。

昭和五十五年三月

文化財を大切にしましょう

東松山市教育委員会  
埼玉県教育委員会

